

会議議事録（要旨）

会議の名称	令和6年度 第1回さぬき市子ども・子育て会議
開催日時	令和6年5月8日（水）14時00分～16時00分
開催場所	さぬき市寒川庁舎 301・302会議室
出席者氏名	松原委員、杉浦委員、三谷委員、山下委員、山中委員、松本委員、 射場委員、山本委員、新開委員、岡本委員、朝倉委員、川地委員
欠席者氏名	大山委員、阿部委員
事務局職員氏名	健康福祉部 中川部長、教育委員会 佐藤部長、幼保こども園課 酒井課長、 国保・健康課 藤井課長、学校教育課 高西課長、子育て支援課 谷課長、 国保・健康課 白井、子育て支援課 山本、浅利
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 あいさつ</li> <li>3 議題 (1)さぬき市こども計画策定に係るアンケート調査の内容及び実施について</li> <li>4 その他</li> <li>5 閉会</li> </ol>
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1 次第</li> <li>・資料2 委員名簿</li> <li>・資料3 こども基本法に基づく「こども計画」の策定について</li> <li>・資料4 こども大綱（本文）</li> <li>・資料5 第2期さぬき市子ども・子育て支援計画</li> <li>・資料6 各種調査の内容について</li> <li>・【1】子ども・子育て支援に関するニーズ調査 アンケート調査票（案）、 設問設定一覧表（① 就学前児童、② 小学生児童）</li> <li>・【2】子どもの生活実態調査 アンケート調査票（案）、設問設定一覧表 （① 小学生児童、② 中学生児童、③ ①②の保護者）</li> <li>・【3】市民意識調査 アンケート調査票（案）、設問設定一覧表</li> </ul>
その他	傍聴 1名

議事内容（要旨）	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開会</li> <li>・事務局新職員紹介</li> <li>・子ども・子育て会議について</li> <li>・新委員紹介</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（株）ぎょうせい紹介</li> <li>・会議の成立、会議の公開について</li> <li>・傍聴の申し出が1名いらっしゃいます。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議題（1）さぬき市こども計画策定に係るアンケート調査の内容及び実施について、事務局から説明願いたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配付資料確認</li> <li>・子ども・子育て支援計画説明</li> <li>・アンケート調査対象者、さぬき市「こども計画」策定業務各種調査の内容について（案）説明</li> </ul>
（株）ぎょうせい担当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こども基本法に基づく「こども計画」の策定について説明</li> <li>・【1】①②説明</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質問等あれば伺いたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートによっては、所要時間を入れているものがある。このアンケートは、どのくらいの時間がかかると想定しているか。</li> </ul>
（株）ぎょうせい担当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一見するとボリュームがありますが、設問の回答次第で質問が飛ぶものもあります。平均すると15分から20分くらいだと思います。</li> <li>・表紙の下に所要時間を入れている自治体もあるので、事務局と検討します。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間の記載があると「子どもが寝てからしよう」などといった選択ができると思う。</li> <li>・【1】①問54の選択肢1番と3番の違いが分かりにくいので説明してもらいたい。</li> </ul>
（株）ぎょうせい担当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3番は、公園等遊びに近い場所ですが、たしかに似たような感じになっています。もう少し違いを明確にしたいと思います。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの中に「低学年」「高学年」という言葉があるが、最近「中学年」とはいわないのか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の現場では、低学年が1、2年、中学年が3、4年、高学年が5、6年だ。2つに分ける場合は1、2、3年を示す下学年、4、5、6年を示す上学年という。ただ、保護者は明確化していないと思う。</li> </ul>
（株）ぎょうせい担当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【1】①問32の表記では、低学年（1～3年生）、高学年（4～6年生）としています。</li> </ul>

議事内容（要旨）	
委員（小学校長 会代表委員）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低学年を下学年、高学年を上学年とすれば、違和感がないと思う。保護者にこれらの言葉を使って説明をあまりしたことはないが、（ ）として該当する学年が入っているので、網羅されていると思う。</li> </ul>
（株）ぎょうせい 担当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討します。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほかにあれば伺いたい。</li> <li>・【1】①裏表紙に子育て支援センターの定義、問23と24の間には、地域子育て支援センターの説明文があるが、表現としてどうかと思った。</li> </ul>
（株）ぎょうせい 担当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後者の方がより詳しく説明していますが、そういった疑問が出てきたので、合わせた方がよいと思いました。修正を検討したいと思います。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問17の文章について、特定の名称を指すような誤解を生む可能性がある。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【1】①7ページに「お子さんの一時預かりなどについておたずねします」とあるが「など」は間違いではないか。</li> </ul>
（株）ぎょうせい 担当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問17については、第1期、第2期、第3期と同じ調査を行っています。より分かりやすい表記について、検討します。</li> <li>・「一時預かりなど」の文章は国のモデルのままです。まずさぬき市で行っている「一時預かり事業」があり、ほかに幼稚園の預かり保育もあるので、それらも含めて一時的に預けるものということで「など」を使っていると思います。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月の会議でも説明したが、【1】①問50では子育てしやすいまちかどうか尋ねているが、市民のニーズに適切に合っているか注視すべきことだと思う。問54で必要な支援について尋ねているので、今不足しているものは推測できると思うが、具体的に「どこが（住みやすい又は住みにくい）」を書けたら、意味のあるものになると思う。</li> </ul>
（株）ぎょうせい 担当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような属性の人が住みやすいと感じているのか、もしくは住みにくい、子育てしにくいと感じているのかというところで、重要だと思います。</li> <li>・例えば問50で「子育てしやすいまちだと思わない」を選んだ人が、問54では何を選んだかなど、相関性の分析は必要だと思います。また、子育て支援に関するアンケートではフリーアンサーにぎっしり意見を書く人が多いので、問55のフリーアンサーも分析することで、会長が話された分析につながるとも考えています。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・このアンケートはカラーで印刷するのか。例えば【1】①問33には、網掛け文字もある。またアンケートの予算はどのくらいか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・白黒印刷です。カラー印刷にすると、白黒印刷の倍以上費用がかかります。またインターネットでの回答もあるので、それを利用する人は裏表紙をカラーで見ることができます。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほかになければ、アンケート調査の説明を続けてもらいたい。</li> </ul>

議事内容（要旨）	
（株）ぎょうせい担当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【2】【3】説明</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質問や意見があれば伺いたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ【2】だけインターネットでの回答なのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの生活実態調査については、6年前の計画策定時、調査対象が保護者でしたが、今回は当事者である子どもも対象にしています。</li> <li>・昨年子ども家庭庁が発足し、子どもの意見を聞き、子どもにとってよりよい未来を作るための計画を策定することが目玉になっています。そうしたことから、さぬき市も検討し、小学5年生と中学2年生を対象にしました。そうすると、学校現場に協力をお願いすることになりますが、現在、小学校1年生を除き、タブレットが1人に1台あるので、タブレットを活用することで、回収率が上がり、学校現場への負担も軽減されると考えました。インターネットでの回答は、この会議を経て、今月の園長、校長研修会（以下「研修会」）で諮り、最終決定となります。</li> <li>・インターネットで回答してもらった場合、授業の1時間を使ってしまうことになります。質問内容は、かなり踏み込んだ内容もあり、子どもによっては辛いものになっているので「答えたくない」「分からない」という選択肢を用意し、「答えたくないものは答えなくてもよい」という指導で進めてもらえたらよいと思っています。</li> <li>・アンケート素案を教育委員会と協議しましたが、例えば「自分はヤングケアラーではないか」という回答があった場合、現場では追跡調査をして、その子が大丈夫かどうかというフォローアップが必要なのではないかという声がありました。今回は、計画策定のためのニーズ調査を目的にしているので、学校の負担を少なくするために、インターネット回答を検討しています。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【3】は郵送とインターネットでの回答だが、大学生くらいの年齢は、住所はさぬき市でも県外にいる人もいるので、無作為抽出だとその人が選ばれる可能性もある。対策等は考えているのか。</li> </ul>
（株）ぎょうせい担当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民基本台帳からの無作為抽出なので、住所変更をせずに県外の大学等へ行っている人もいるかと思えます。そういった人に届いた場合は、その家庭の判断になるかと思われます。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【3】問40は、どの人にもいえると思うので、ほかのアンケートにも入れたらよいと思う。</li> </ul>
（株）ぎょうせい担当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討したいと思います。</li> </ul>

議事内容（要旨）	
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【2】①②は、回答に「答えたくない」がある一方で、③には「答えたくない」がない。</li> <li>・市のアンケートで、子どもに「質問に答えたくない」「アンケートをしたくない」ということをやると、学校のアンケートでも「答えたくないなら答えなくてもよい」とならないか危惧している。個人のプライバシーに関わるからということならよいが、全てに「答えたくない」の選択肢があるのはいかがなものか。大人にも答えたくないものがあるのに、大人には答えさせている。</li> </ul>
(株)ぎょうせい担当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛媛県でヤングケアラーのアンケート調査を行った際、センシティブな質問項目が多くありました。そういったことに配慮して「答えたくない」を入れた方がよいだろうという指摘が様々な自治体からあったので、さぬき市でも入れました。そうしないといけないということではありません。</li> <li>・また、児童や生徒対象のアンケートで「答えたくない」割合は、そんなに高くありません。大人は「答えたくない」という選択肢がなくても、無回答で次の設問に行くと思います。とはいえ、無回答の割合も低く、コンマ数パーセント程度です。これまでの傾向から今回もそれくらいではないかと思っていますが、この件については議論してもよいかと思っています。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育の場で「答えたくない場合は、答えたくなくてもよい」という指導がよいのかどうか、小学校長会代表委員に伺いたい。</li> </ul>
委員（小学校長会代表委員）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちのやる気は大切にしたいが、個人的な思いで「答えたくない」と感じる場合は配慮が必要だと思う。ただ、子どもたちの状況も多様になっており、判断の難しい状況が多々ある。このアンケートもその判断が難しいので、心配される設問に「答えたくない」という選択肢を用意しているのは、やむを得ないことかと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育の場とさぬき市とでは違うと思うので、先生が説明する際に考えてもらいたい。</li> <li>・大人にだって答えたくないものがある。例えば、私は年収を答えたくない。誰にでも優しいアンケートにしてもらいたい。</li> </ul>
事務局（教育部長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「答えたくない」という回答は少ないとのことですが、それをどのように扱うのが気になります。答えてほしいところは「答えたくない」を外してもよいのではないかと思います。先ほどの意見同様「答えたくない」設問が多い印象があります。</li> </ul>
(株)ぎょうせい担当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「答えたくない」については、数が少ないから統計的に問題ないということではなく、そう回答した背景も大切だと思うので、そういったことも配慮しながら、事務局と検討します。</li> </ul>

議事内容（要旨）	
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者が回答するアンケート調査があるが、外国籍の保護者が増え、日本語の文章を理解できない人も増えている。翻訳するなど、そういう人への支援はあるか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁内でも同様の意見が出ました。翻訳できればいいのですが、英訳は難しい状況です。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォンの翻訳アプリを活用している外国人が増えているので、そういうアプリの情報を伝えられたらよいと思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アプリの活用も含め、検討したいと思います。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【2】は学校で行うか、家庭で行うかは後ほどということだったが、決定は研修会で行うのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できれば結論まで持っていきしたいと思います。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校で行えたら回収率は上がると思うが、プライバシーもあるので、家庭で行う方が答えやすい。一方で、家族に回答を見られたくない内容もあるので、どこで回答するのがより良い方法なのか判断が難しいと感じたので、研修会で結論がでるのか不安だ。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査を行う目的として、子どもの貧困対策やヤングケアラーに関する現状やニーズ把握があります。</li> <li>・教育委員会に案を見てもらった際、子どもは親が喜ぶと思ってお手伝いをしているが、この調査を見て、家で「自分はヤングケアラーではないか」という話になってしまうのではないかという意見がありました。そういうことは事務局が目的としていないので、回答の選択肢に「本当はお手伝いがいやだが、がんばってやっている」というのを増やしています。目的を達成し、子どもたちが素直に自分の意見を出せるような方法を考えていききたいと思います。</li> <li>・事前に調査内容についての資料を配付し、各学校で協議してもらった後、研修会で諮るという方法もあるので、今後検討したいと思います。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【2】のアンケートに学校名を選択する設問があるので、個人が特定されるイメージがある。またヤングケアラーにあてはまる児童・生徒がいれば、学校側としては知りたいし、教育委員会としてもフォローしないといけないと思うが、表紙には「家族や先生が見ることはない」と記載されている。子どもたちの不信感につながらないか。</li> <li>・学校は特定しないといけないのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初は学校名を尋ねる設問はありませんでした。</li> <li>・今後、学校との話し合いになりますが、学校として、我が校の児童・生徒がどうしているか知りたいということであれば、学校名を入れるのも一つの方法だということだったので、とりあえず入れている形です。削除することも可能です。</li> <li>・回答者番号は振るのは、親子のひも付けだけが目的です。</li> </ul>

議事内容（要旨）	
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者は番号が振られると、個人を特定されるイメージがあるのではないかと 思う。</li> </ul>
(株)ぎょうせい 担当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回答者番号とパスワードは親子をひも付けるもので、個人を特定するものでは ない旨を入れた、学校の先生用の説明文を作成し、研修会で見てもらうことを 考えています。</li> <li>・説明文には、さぬき市から依頼が来ているので、これからアンケートをお願い すること、アンケートに回答しなくても成績に影響しないこと、先生が回答を 見ることはないの、ありのまま回答してほしいことなどが入ります。どうい うものが児童・生徒にとって適切かを事務局と協議したいと思います。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・例えばさぬき南中学校は1から始まるなど、回答者番号の振り方に一定のルー ル性が推測されると、特定につながると思われる。番号の振り方はどうか。</li> </ul>
(株)ぎょうせい 担当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回答者番号は4桁の数字を並べ、パスワードは4桁の数字をランダムに印刷す るので、規則性は基本的にはありません。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そういう説明を表紙に入れることはできませんか。</li> </ul>
(株)ぎょうせい 担当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者用の用紙に書くことはできます。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校の児童に、郵送等で送ってもらいたいと思っています。そうすると、先 生が関われないので、伝えたいことは全て書いてもらいたいと思います。</li> </ul>
(株)ぎょうせい 担当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明を全て書き、またインターネットでの回答なので、トップ画面にも同様の 内容を記載することは可能です。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表紙の回答者番号とパスワードの下か「記入にあたって」に入れてはどうかと 思います。</li> </ul>
(株)ぎょうせい 担当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応可能です。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【2】について、子どもたちが、どこかの設問で「答えたくない」を選んでも、 次の設問に行けるようになっているのか。</li> </ul>
(株)ぎょうせい 担当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのような設計で検討しています。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者のアンケートの場合、紙で回答する人は無回答でも次に進めるが、イン ターネットで回答する人は無回答なら次へ進めないという違いは出てくるか。</li> </ul>
(株)ぎょうせい 担当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【2】は、保護者もインターネットのみです。【1】は併用です。</li> <li>・会長の懸念については、無回答でも次に進めるよう構築します。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【3】問22の選択肢14番の「他社」は「他者」か。</li> </ul>
(株)ぎょうせい 担当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「他者」です。</li> <li>・印刷する前に、再度文言のチェックをします。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学校に通う子は調査しないのか。県立の高松北中学校や附属中学校に 通う子も考えていないということか。</li> </ul>

議事内容（要旨）	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さぬき市立の学校で考えています。</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのほかになれば、これで議事を終了する。</li> <li>・事務局から何かあれば伺いたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の予定について</li> <li>・次回の子ども・子育て会議開催時期について</li> <li>・そのほかの資料説明</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・閉会</li> </ul>

以上